

2019年12月25日
日本生命保険相互会社
京阪ホールディングス株式会社
関電不動産開発株式会社

大阪市北区の中之島4丁目用地における未来医療国際拠点整備・運営事業への参画について

日本生命保険相互会社（社長：清水博）、京阪ホールディングス株式会社（社長：石丸昌宏）、関電不動産開発株式会社（社長：勝田達規）の3社グループ（以下「当グループ」）は、大阪市主催の「中之島4丁目用地における未来医療国際拠点整備・運営事業に関する開発事業者募集プロポーザル」（以下「当プロポーザル」）において、今般、大阪市、大阪府、一般財団法人未来医療推進機構（以下「機構」）と基本合意書を締結し、開発事業者として参画することとなりました。

当グループは、2019年2月7日付で公表していたとおり、当プロポーザルの優先交渉権者に選定され、これまで具体協議を進めてきました。

今後、未来医療に関わる人や最先端の情報が集まる「知の循環」を促進する仕組として、未来医療の創造を牽引するR&Dセンター、実践を牽引するMEDセンター、共有を推進する国際フォーラムの3つの施設を整備し、未来医療の産業化・国際化の加速に向け、取組んでまいります。

<基本合意書 概要>

- 当グループは、当事業に利用する土地を大阪市より賃借し、未来医療国際拠点（以下「当拠点」）に利用する建物の整備・保有を行うとともに、機構に対し建物の賃貸を行う。
- 機構は、当拠点の持続的な運営に向け、拠点全体のオーガナイズ、未来医療に関する企業・研究活動支援等の事業を行う。また、機構は、入居テナントの確保や当拠点の管理運営を行い、拠点機能の維持を行う。
- 大阪市および大阪府は、当拠点の実現および安定的な運営に向け、両者の役割に応じ、必要な環境整備を行う。
- 当グループ、大阪市、大阪府、および機構は、当拠点の持続的な運営に向け、運営協議会を設置し、機構の事業内容や健全性等について、情報共有・協議するものとする。

<施設計画>

| | |
|------|------------------------|
| 計画地 | 大阪府大阪市北区中之島4丁目32番17 |
| 敷地面積 | 8,600 m ² |
| 延床面積 | 約58,000 m ² |
| 構造 | 鉄骨造地上17階建 |
| 竣工年月 | 2023年12月（予定） |

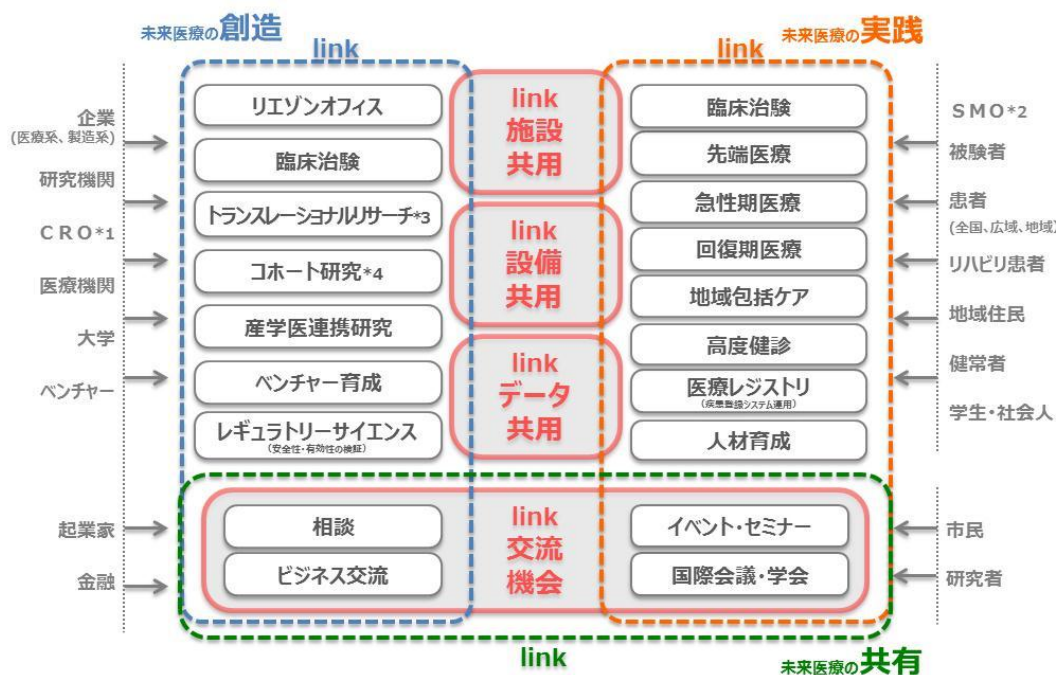
<近郊図>



<外観（イメージ）>



<当拠点のイメージ>



*1 CRO : Contract Research Organization 医薬品開発受託機関

*2 SMO : Site Management Organization 治験施設支援機関

*3 トランスレーショナルリサーチ : 橋渡し研究 未来医療の実践と産業界をつなぐ一連の研究

*4 コホート研究 : 要因の有無の比較により疾病発生の関係性を調べる観察的な研究

※ 上記内容・イメージは、現時点での計画内容であり、今後、予告なく変更する場合があります。

<大阪市 報道発表資料>

[URL] <https://www.city.osaka.lg.jp/hodoshiryo/toshikeikaku/0000489401.html>

以上